

# 28 高等学校 商業科 問題用紙

(6枚のうち1)

受験番号	氏 名	
------	-----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

1 科目「ビジネス基礎」に関して、次の1～4に答えなさい。

1 企業が外部から事業資金を調達する方法の一つに間接金融があります。間接金融とは、企業がどのような仕組みで事業資金を調達することですか。次の言葉をすべて用いて簡潔に書きなさい。なお、同じ言葉を何度用いてもよいこととします。

金融機関	預金者	企業
------	-----	----

2 売買に関する計算について、次の(1)・(2)に答えなさい。

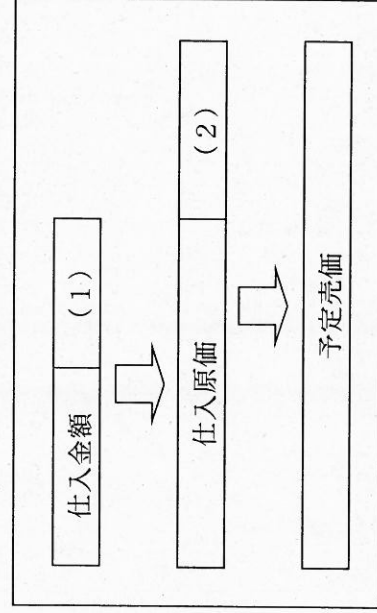
(1) アメリカに旅行に行った際、\$850の商品を20%引きで購入しました。購入代金を日本円に換算すると、いくらになりましたか。求めなさい。その際、求め方も書きなさい。ただし、\$1 = ¥122.54とし、円未満は四捨五入しなさい。

(2) 元金 ¥1,825,000 を年利率 3.5% で5月24日から同年8月5日まで借りると、元利合計はいくらになりますか。求めなさい。その際、求め方も書きなさい。ただし、日数の計算は片落として求めなさい。

3 近年は、コスト削減等のために業務の一部を外部に委託する企業が増えています。このように業務の一部を外部に委託することを何といいますか。次の(ア)～(エ)の中から選び、その記号を書きなさい。

(ア) デファクト・スタンダード	(イ) サンク・コスト	(ウ) コンプライアンス	(エ) アウトソーシング
------------------	-------------	--------------	--------------

4 次の図は、予定売価の構成について模式的に示したものです。図中の(1)・(2)にあてはまる言葉を書きなさい。



2 平成21年3月告示の高等学校学習指導要領 商業 課題研究 3 内容の取扱い (1) には、内容の構成及びその取扱いに当たっての配慮事項が2つ示されています。一つは、「生徒の興味・関心、進路希望等に応じて、内容の(1)から(4)までの中から個人又はグループで適切な課題を設定させること。なお、課題は内容の(1)から(4)までの2項目以上にまたがる課題を設定することができること。」と示されています。もう一つの配慮事項は何ですか。簡潔に書きなさい。

3 マーケティングに関して、次の1・2に答えなさい。

1 販売促進戦略の一つにプル戦略があります。プル戦略とは、どのような戦略ですか。簡潔に書きなさい。

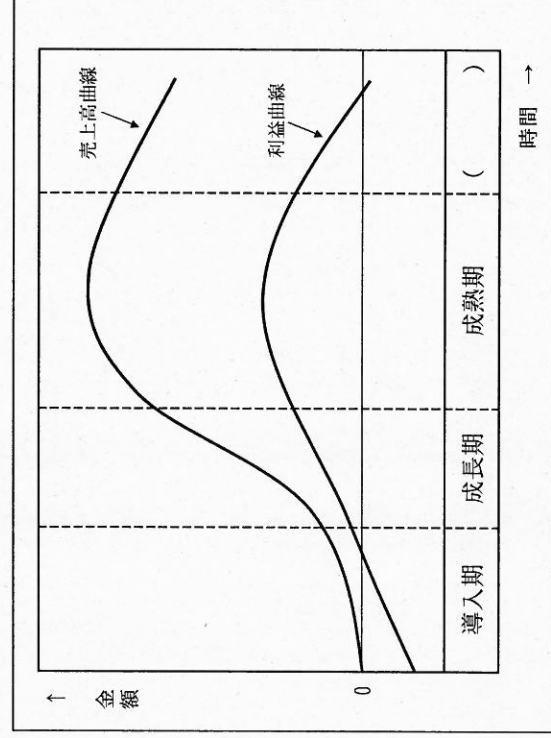
# 28 高等学校 商業科 問題用紙

(6枚のうち2)

受験番号	氏 名	
------	-----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

2 次の図は、ある商品の製品ライフサイクルを模式的に表したものです。下の(1)・(2)に答えなさい。



- (1) 図中の( )にあてはまる最も適切な言葉を書きなさい。
- (2) この商品を長期的に維持するためには、成熟期の段階において、企業はどのようなマーケティング戦略を実施しますか。具体例を簡潔に1つ書きなさい。

4 ビジネス経済に関して、次の1・2に答えなさい。

- 1 民法第715条には、使用者責任について示されています。使用者責任とはどのような責任ですか。次の言葉をすべて用いて簡潔に書きなさい。なお、同じ言葉を何度用いてもよいこととします。

事業	第三者	被用者
----	-----	-----

- 2 科目「ビジネス経済」の授業において、次の資料のルールに基づいて商品の価格設定について学習を行うこととします。この授業で、商品の価格設定について理解を深めるためには、生徒にどのような点に気付けさせる必要があるでしょうか。また、この授業の振り返りで、「おおむね満足できる」状況と判断できる生徒のまとめの記述例を書きなさい。

<ルール>

- A店とB店は、お互いに相談できない状態にいる。
- A店とB店は、「値下げ」、「すえおき」のいずれか一方を、1回のみ同時に選択する。
- A店とB店は、自店の売上を最大にすることだけに関心をもつものとする。
- 両店ともに値段をすえおいた場合、売上高はお互い100になる。
- 一方が値下げをした場合、値下げをした方の売上高は160、値段をすえおいた方の売上高は40になる。
- 両店が値下げをした場合、お互いの売上高は80になる。

「値下げ」と「すえおき」の組み合わせと結果

	B店	値下げ	すえおき
A店		(80, 80)	(160, 40)
	値下げ	(40, 160)	(100, 100)



# 28 高等学校 商業科 問題用紙

(6枚のうち4)

受験番号	氏 名	
------	-----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

6 X 製作所は、組別総合原価計算を採用し、A組とB組の2種類の異種製品を同一工程で連続生産し販売しています。次の資料をもとに、解答欄に示した組別総合原価計算表と仕掛品勘定の( )にそれぞれ適当な金額を記入しなさい。

1 製造費用は、素材費、直接労務費及び製造間接費に分け、素材費と直接労務費は各組に直接賦課し、製造間接費は直接労務費を配賦基準として各組に配賦している。

2 月末仕掛品原価の計算は、先入先出法を用いている。

3 生産データ

	A 組	B 組
月初仕掛品	200 個 (60%)	0 個
当月投入	800 個	600 個
合計	1,000 個	600 個
月末仕掛品	300 個 (40%)	0 個
当月完成品	700 個	600 個

(注) 原料はすべて工程の始点で投入される。仕掛品の( )内の数値は、加工進捗度を示している。

4 原価データ

(1) 月初仕掛品原価：素材費	512,500円		
加工費	1,112,500円 (内訳：直接労務費 412,500円, 製造間接費 700,000円)		
(2) 当月製造費用：素材費	6,890,000円 (内訳：A 組 2,120,000円, B 組 4,770,000円)		
直接労務費	4,000,000円 (内訳：A 組 2,800,000円, B 組 1,200,000円)		
製造間接費	6,000,000円		

# 28 高等学校 商業科 問題用紙

(6枚のうち5)

受験番号	氏名	
------	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

7 プログラミングに関して、次の問いに答えなさい。

第1図のような商品データを読み、処理条件にしたがって、売上金額を求めて表示させるアルゴリズムを流れ図に示すと第4図のようになります。第4図中の(1)～(6)には、どのような内容が入りますか。下の語群ア～ケの中からそれぞれ選び、その記号を書きなさい。

入力形式 (ファイル名: shohin.dat)

s_code (商品コード) XXXX	s_tanka (商品単価) XXXXX
------------------------	-------------------------

配列 (第1図)

配列 s_code	配列 s_tanka
(1) <input style="width: 80%;" type="text"/>	(1) <input style="width: 80%;" type="text"/>
}	}
(30) <input style="width: 80%;" type="text"/>	(30) <input style="width: 80%;" type="text"/>

(第2図)

処理条件

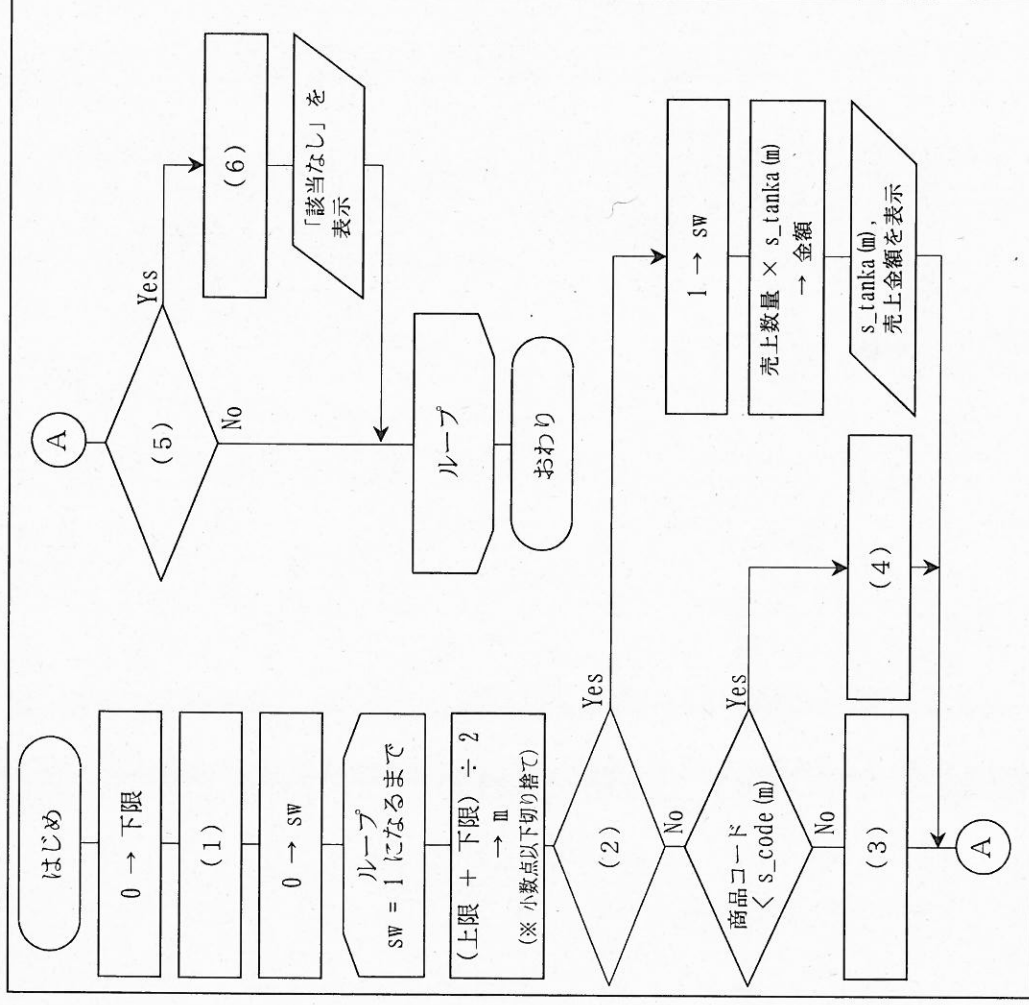
- 1 第1図の商品データには、商品コードの昇順にデータが30件記録されている。フォームのロード時に配列s\_code, s\_tankaに順番に読み込む。なお、配列s\_code, s\_tankaは第2図のように添字で対応している。
- 2 第3図に、第2図に示す商品コードと売上数量を入力し、「処理」ボタンをクリックして処理を行う。
- 3 該当する商品コードが見つかったときは、単価をLabel\_1に、売上金額を計算してLabel\_2に表示する。
- 4 該当する商品コードが見つからなかったときは、「該当なし」と表示する。

実行形式

商品コード 106	売上数量 3	単価 250	売上金額 750
		<input type="button" value="処理"/>	<input type="button" value="終了"/>

(第3図)

処理\_Click



(第4図)

語群

- ア 商品コード = s\_code (m)
- イ m → 下限
- ウ 上限 = 下限 + 1
- エ 31 → 上限
- オ 上限 = 下限
- カ 0 → 上限
- キ 商品コード > s\_code (m)
- ク m → 上限
- ケ 1 → SW

# 28 高等学校 商業科 問題用紙

(6枚のうち6)

受験番号	氏 名	
------	-----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

8 科目「ビジネス基礎」の単元「企業の形態と経営組織」において、小単元「経営理念」を設定することとします。この小単元では、生徒にグループ学習等の主体的な学習に取り組み、学習意欲を高めることを目指します。どのような学習活動を取り入れることが考えられますか。次の表に示された条件を基に、第1次の学習展開における、学習活動と指導上の留意事項について、あなたの考えをそれぞれ書きなさい。なお、この小単元は、時間を合計4時間とし、本時の授業は、パソコン室で実施することとします。

<条件>

学 科	学 年	商業科・第1学年	
科 目	ビジネス基礎		
小 単 元 名	経営理念		
生徒の状況	学習状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・科目「ビジネス基礎」で、株式会社の仕組み及び資金調達方法について学習している。</li> <li>・科目「簿記」で、企業会計に関する法規や基準及び簿記の基本的な仕組について学習している。</li> <li>・学校設定科目「販売実習」で、自校において学校デパートの活動を中心とする「模擬株式会社」の創立に向けた準備を進めている。</li> </ul>	
	習得状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・株式会社の仕組み及び資金調達方法に係る小テストで、約90%の生徒が正解した。</li> <li>・事前のレディネステストにおいて「会社に社是があることを知っているか」の問いに対して、知っているのと回答した生徒は約50%であった。また、「自校の模擬株式会社の創立に積極的に関わりたいか」との問いに対して、約95%の生徒が関わりたいと回答した。</li> </ul>	
小単元の目標	目標	企業が社会で果たしている役割と経営理念に盛り込むべき項目を関連付けて、自校の「模擬株式会社」の経営理念(社是)を作成することができる。	
指導計画	時間	学習活動	
	1	(本時)	
	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 企業の経営理念に係る情報収集                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・各グループで、様々な業種(製造業、小売業、サービス業等)の経営理念や、様々な創立時期(平成、昭和、大正等)の会社の経営理念に係る情報を収集する。</li> </ul> </li> </ul>	
	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 企業の経営理念に係る情報の分析・まとめ                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・各グループで、収集した情報を整理し、社会的役割と関連付けて分析し、経営理念に必要な項目を明らかにする。</li> <li>・各グループが明らかにした経営理念に必要な項目について、クラス内で発表する。</li> <li>・各グループの発表内容を基に、自校の「模擬株式会社」の経営理念に盛り込む項目等を決定する。</li> </ul> </li> </ul>	
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自校の「模擬株式会社」の経営理念の作成                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時に決定した自校の「模擬株式会社」の経営理念に盛り込む項目等を基に、各グループで話し合い、経営理念を考える。</li> <li>・各グループで作成した経営理念を基に話し合い、自校の「模擬株式会社」の経営理念を作成する。</li> </ul> </li> </ul>		
本時の目標	目標	企業の経営理念に示される内容等を分析し、企業の果たしている役割についてワークシートにまとめることができる。	
配付する資料	著作権保護の観点により、掲載いたしません。		

(5枚のうち1)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問題番号		解答欄	
1	1		
	2	(1)	
		(2)	
	3		
	4	(1)	
		(2)	
2			

(5枚のうち2)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問題番号		解答欄	
3	1		
	2	(1)	
		(2)	
4	1		
	2	気付き	
		記述例	



(5枚のうち3)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問題番号		解答欄			
5	1	借方	金額	貸方	金額
	2	借方	金額	貸方	金額
	3	借方	金額	貸方	金額
	4	借方	金額	貸方	金額
	5	借方	金額	貸方	金額

(5枚のうち4)

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

問題番号	解答欄				
6	組別総合原価計算表 平成〇年〇月分 <span style="float: right;">〔単位：円〕</span>				
	摘 要	A 組		B 組	
		素 材 費	加 工 費	素 材 費	加 工 費
	月初仕掛品原価	512,500	( )	—	—
	当月製造費用	2,120,000	( )	4,770,000	( )
	計	( )	( )	4,770,000	( )
	月末仕掛品原価	( )	( )	—	—
	完成品原価	( )	( )	4,770,000	( )
	製品単価	( )	( )	7,950	( )
	仕 掛 品 <span style="float: right;">〔単位：円〕</span>				
月初有高	( )	A 組 製品	( )		
素 材 費	( )	B 組 製品	( )		
直接労務費	( )	月末有高	( )		
製造間接費	6,000,000				
	( )				
7	(1)				
	(2)				
	(3)				
	(4)				
	(5)				
	(6)				

28

高等学校 商業科 解答用紙

(5枚のうち5)

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

問題番号	解答欄	
	学習活動	指導上の留意事項
8		